

はあとふる ふくしま



2012

12

Vol.200

発行・企画編集

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

TEL (024) 523-1251(代) FAX (024) 523-4477

URL <http://www.fukushimakenshakyo.or.jp>

メール heartful@fukushimakenshakyo.or.jp

ありがとう
200号

創刊号

Vol.
150

Vol.
50

Vol.
100

【特集】 2
座談会「ふくしま明日への一步
東日本大震災を乗り越えて」

情報掲示板 9
「第66回福島県社会福祉大会」が開催されました

今月の
表紙

「はあとふる ふくしま」は平成8年の創刊から
今月号をもって200号を迎えました。県社協は今
後も本誌を通して福島県の皆さんにとって身近
な福祉情報を発信するとともに、誰もが安心して
暮らすことのできる地域福祉を推進していきます。



「はあとふる・ふくしま」の作成経費の一部として、共同募金配分金
および特別賛助会員の寄付金を使用させていただいております。

座談会

『はあとふるふくしま』200号記念
「ふくしま明日への一歩」
東日本大震災を乗り越えて

本誌『はあとふるふくしま』は平成8年4月の発行から今月で200号を迎えました。過去10数年の社会福祉の動きを振り返ると、社会福祉法、介護保険法、障害者自立支援法、児童虐待防止法などの施行による大きな動きのなかで、県内における地域福祉もそれに伴い変化してきました。そして東日本大震災から1年9カ月が経過してもなおその影響を受ける今、福祉の重要性がこれまで以上に高まっています。

今回の特集では、この10年間の社会福祉・地域福祉に着目しながら、県内福祉活動の中心となって活躍されている方々に福祉の「これまで」と「これから」を語っていただきました。

出席者



市町村社会福祉協議会
連絡協議会 会長
強口 暢子氏



老人福祉施設協議会
会長
三瓶 政美氏



福島県社会福祉協議会
常勤副会長
古川 雅之氏



障がい児者
福祉施設協議会 会長
新妻 登氏



児童福祉施設部会
会長
神戸 信行氏



福島大学行政政策学類
教授
鈴木 典夫氏



県民生児童委員協議会
会長
金子 祥子氏

進行

県内における過去10年間の
福祉活動を振り返って

鈴木 10年前というと平成14年になります。社会福祉基礎構造改革や平成12年の社会福祉法の施行などを軸にして進捗し、福祉の分野は目まぐるしく変化した10年間でした。とりわけ福祉制度においては、個人々人への対応を丁寧に行っていたといううことで社会福祉全体が動いてきたのではないかと思います。

その背景として、私たちの暮らしが多様化し、抱える問題が個別化していること、また、「権利」の問題にかなり焦点が当たってきたことが挙げられます。

さらに、「地域」というキーワードもあります。近隣者とともにあるという生活は、そのフィールドが地域にありますので、そこに、福祉の場面が色濃く反映されている。

ではないかなと思っています。

そして、ボランティアも含めて、住民・市民の参加が大きな資源になっていると痛切に感じる10年であったとも言えます。

三瓶会長、高齢者福祉の場面ではいかがだったでしょうか。

三瓶 私がこの世界に飛び込んだのは、ちょうど10年前。これからは自分の給料は自分で稼がなければならぬという話があり、そこには、介護保険法が始まったという意味が含まれていました。

平成16年には、施設の部屋はユニットでなければならぬことになりました。個人重視、個別ケア中心の考えが出てきたんですね。

それから在宅介護も大きな流れだと思っています。地域包括ケア（※住み慣れた地域で介護、医療、生活支援サービス、住まいの4つを一体化して提供すること）の推進によって「地域の介護力」が必要になります。

私が老人福祉施設協議会の役員になって間もなく手がけたのは、特別養護老人ホームの入所指針づくりです。施設入所がこれまでの申込順から介護度や家族の状況を勘案して入所を判定する体制ができました。この10年間で医療的ケアを必要とする



方が増え、介護度が重度化しているということが高齢者福祉の特徴と見ることが出来ます。

介護の重度化に対応するため、特別養護老人ホームでは個別ケアの質

をいかに上げていくかが施設に求められていますし、これからの介護は「科学的介護」などとも言われています。いずれにせよ、施設から在宅への流れの中、入所施設が地域の中で

必要な受け皿としてどう機能していくかが問われています。

鈴木 平成18年に障害者自立支援法が施行され、それと同時に障害を持った方々の地域移行もこの10年のキーワードに挙げられるかと思えます。障がい福祉分野について振り返って、新妻会長はいかがでしょう。

新妻 平成15年から支援費制度が始まり、介護保険制度の後を追う形で契約制度に移行しました。そのなかで、障がいがあったても地域の中で暮らすのが当たり前で、ノーマライゼーションという言葉も当然

に生きていましたし、それに近づくように障がい者福祉は進んできたのかなと思っています。

福島県に限っていうと、平成18年から5年かけて、地域生活移行プログラムを県が主導して行ってきました。ねらいを地域生活移行と施設の縮小の二本柱にして進めてきました。当初、県が行ったアンケートでは、施設の利用者の700人ぐらいが地域の中で暮らしたいということでしたが、県が立てた300人の目標は、平成22年までの5年間で達成されています。しかし、施設縮小はほとんど行われていません。

県社協では以前、知的、身体、授産でそれぞれ種別組織を別々にしていましたが、平成21年に新たに障がい児者福祉施設協議会に統合しました。今回の自立支援法でも、精神を含む三障がい一体化が今の流れです。今後、精神障がいも含めて、施設や病院から「地域」へといったときに、どのような連携を図ることができるかなと今は思っています。

鈴木 制度的な背景はかなり変わってきていますが、障がい者の分野では、ノーマライゼーションが果たして実施できたのか、という10年だった気がします。

社会福祉・社会の動き

平成14年～平成23年

平成23年	平成21年	平成20年	平成19年	平成18年	平成17年	平成16年	平成15年	平成14年
7月 6月 3月	11月 6月	9月 7月 7月 6月	12月 12月 7月 3月	6月 6月 6月 5月	11月 11月 6月 6月	12月 12月 10月 6月 4月	7月 4月	8月
東日本大震災発生 「障害者虐待防止法」公布 (平成24年10月施行) 新潟・福島豪雨災害発生	「育児・介護休業法」改正(22年6月施行) 緊急雇用対策ハローワークにおけるワンストップ・サービス・ティ実施	岩手・宮城内陸地震発生 岩手県沿岸北部地震発生 「介護の日」(11月11日)制定 米国リーマンショックによる世界的経済危機	能登半島地震発生 新潟県中越沖地震発生 「社会福祉士および介護福祉士法」改正 老人福祉法改正	「公益法人制度改革関連法」成立 「バリアフリー新法」公布(18年12月施行) 「自殺対策基本法」公布(18年10月施行) 「認定こども園設置法」公布(18年10月施行)	「介護保険法」改正(18年4月施行) 「障害者雇用促進法」改正(18年4月施行) 「障害者自立支援法」公布(18年4月施行) 「高齢者虐待防止法」公布(18年4月施行)	「児童虐待防止法」改正 「障害者基本法」改正 新潟県中越地震発生 「児童福祉法」改正 「発達障害者支援法」公布(17年4月施行)	「支援費制度」施行 「次世代育成支援対策推進法」(少子化社会対策基本法)公布	「ホームレス自立支援法」公布

さて、子どもたちの問題では、平成12年に児童虐待防止法が施行され、平成16年には改正も行われ、その強化が図られてきました。神戸会長、児童福祉の10年を振り返っていかがでしょうか。

神戸 児童虐待の問題が大きく浮かび上がった10年だと思います。

少年院の入所児童の半数以上が被虐待児であることが明らかになっています。児童自立支援施設の6割の子どもが被虐待児である事実や、児童養護施設でも、半数を超える子どもが被虐待児です。重篤な虐待を受けた子どもたちが児童養護施設など



児童福祉施設にたどり着く。しかし、支援する私たち職員の側には被虐待児をケアし、家族を支援するスキルの開発が追いつかない状況がありました。そのような中で、施設内の不適切なケアの防止が課題となりました。さらに、平成18年には泉崎村で福島県では法律施行後初めての虐待死亡事例が起こってしまいました。しかも、関係機関が関わっていないながら防げなかった事例です。子どもの生存権さえも脅かされながら児童養護施設にたどり着いている状況の中で、施設が権利擁護の場になることも要求されてきた気がします。

一方で、福島県では児童養護施設の職員が中心になって福島虐待問題研究会を立ち上げています。東北・北海道では一番早くから虐待問題に取り組んだNPOです。さらに、児童虐待防止法ができて、子どもに対する考え方も大きく変わり、施設の現場もきちんと認識を変えて、子どもの権利擁護と自立を支援していくことが明確に買われるようになりました。

鈴木 虐待の問題は地域福祉活動でも感じる場所があると思います。金子会長、民生委員・児童委員の立場で地域福祉の最前線で活動されていますが、いかがでしょうか。



金子 この10年の間に民生委員・児童委員制度創設90周年の節目を迎えました。100周年に向けて、高齢者の孤立や孤独の防止、災害時一人も見逃さない運動などの活動に、地域福祉の担い手として力を注いでいますが、福祉や生活課題もやはり年々複雑、多様化してきています。大変残念なことですが、認知症を含めた高齢者問題や家族による児童虐待などの憂慮すべき事案も出てきつたあると感じています。

鈴木 民生委員・児童委員の皆さんは、最前線で認知症の問題や虐待の

「はあとふるふくしま」2000号記念
制作・発送作業の裏側

目の不自由な人にも
点字と音声で最新号を――

特定非営利活動法人 にじの会
(福島市)

『はあとふる』は、創刊以来「にじの会」の皆さんによって点訳されています。平成12年からは音訳版も本格的にスタートしました。

『はあとふる』の点訳版は5人で約2週間かけ、音訳版は6〜7人で約1週間かけて完成します。

「じっくり内容を掘り下げて読む人には点字が向いていますし、音訳はながら聞きができる等それぞれに特長があります」と副会長の玉木喜久子さん。

現在、福島県が把握している視覚障害者が約6千人。高齢化で中途視覚障がい者が増え、点訳・音訳には大きな期待が寄せられます。会長の加藤三保子さんは「利用される方の人数にかかわらず、一人でも必要の方がいれば、応えていきたい」と話します。

今月号も『はあとふる』の点訳版と音訳版は、点字図書館などに届けられます。



にじの会の会員は現在150名ほど。会長加藤三保子さんと副会長の玉木喜久子さん。

問題と向きあっている住民代表の方々だと思っています。

地域福祉推進を図る社会福祉協議会から、強口会長にこの10年を振り返ってもらいます。

強口 私の地元いわき市では、平成

8年から小地域福祉活動を推進するために、行政区ごとに3年間の指定をして、地域福祉活動を実施しています。650近い行政区があるので、この10数年で180地区ほどを指定しました。ただ、残念なことは、社協からの指定している3年間だけで活動が終わってしまうことです。これまで、皆さんが10年間を振り返るなかで問題提起された課題などに対して、各行政区単位の小地域において、どのように福祉活動として取り組んでいくのかが社会福祉協議会に課せられている課題であり、役割だと思っています。

鈴木 地域の命題でもあるコミュニティづくりも、10年間の取り組みのなかで、より小地域化してきました。この10年間というのは、様々な制度の急展開の様相がありました。それでも福祉活動が不断に続けられた10年間だったと思います。

古川 今、皆さんの話を聞いて、様々な制度の改正を経ながら、個人の権利を尊重しつつ、誰もが安心して暮らせるような地域社会にしていこうという取り組みが強く現れた10年だったと思っています。

しかし、制度改正の前提となる部分が非常に悪化しているのだろうなと思います。地域の絆がなくなっていることもそうですし、非常に大きいのは経済の悪化です。また、働き方も大きく変わってきています。そこから様々な問題が福祉に出てきています。そういう中でも、個人を大事に、地域の中でみんなが安心して暮らしていけるよう、そんな地域を作っていくための支援に私たち県社



協として取り組んできました。

東日本大震災による課題と今後10年の展望

鈴木 さて私たちは、本当に大きな局面に向かわざるを得ないという状況にあります。東日本大震災、原子力発電所の事故。これらを踏まえて、今どついったことが課題になっているのか。そして、ここを一つの出発点として、それぞれの分野での今後の10年をどのようにお考えでしょうか。

三瓶 今回の災害では、弱者への対応が非常に遅れていた、考えられていなかったと感じられます。特に相双地域では、着のみのまま避難しなければならず、さらに3、4回と避難を重ねなければならなかった。そういう避難の状況の中で、利用者は疲労に加え環境の変化の影響があり、災害関連死が被災県のなかで最も多くなっていました。このことを教訓に、災害時の避難のあり方、弱者の避難のあり方をもう少し真剣に考える必要があるのだろうと思っています。

また、これからやらなければならないのは、介護職員をどうやって確保していくのかということです。福

福島から全国へお届け。仕事への自負心を大切にしたい

特定非営利活動法人よつば
福島市地域活動支援センター
いいざかワーク(福島市)

『はあとふる』を県内社会福祉施設や全国の関係機関などに発送するための封入作業は、「いいざかワーク」の利用者の皆さんによって行われています。別冊・長寿だよりの挟み込み、宛名シール貼り、封入、袋とじの作業を利用者15人で分担し、約5時間で発送用の1900冊が完成します。

「お仕事である以上、一人ひとりが責任を持って取り組むようにしています」と所長の佐藤伸弘さん。利用者の中には「はあとふる」を愛読し、月に1回の封入作業を楽しみにしてくれている方もいるそうです。

「福島県の福祉情報誌を県内や全国に届けるお手伝いをさせていただいていることは、私たちの大きな誇りです。10年後、20年後も続けていくことができましたら嬉しい」と佐藤さん。『はあとふる』

は今後も、「いいざかワーク」の皆さんの熱い思いとともにホットな情報をお届けしていきます。一つひとつ丁寧に封入作業が行われます。





島県の特別養護老人ホームの待機者は、1万人から1万2,000人に増えたと言われています。それに対して職員は震災の影響もあって今までよりも少ない状態になっています。いくら職員を募集しても応募者が来ないという状態にあります。ここ5年間で2,000床を増やすのが県の計画です。利用者の3分の1が介護職員の最低必要人数になりますが、それだけの人材を確保できるのだろうかという心配があります。

また、在宅介護のあり方として、国は地域包括ケアを提唱しています。その中で言われているように、24時間365日、医療も看護も介護サービスも提供していく仕組みがあるのとは一番いいことですが、人材確保の問題等から実現に向けては地域格差が生じているのではないかと危惧されています。また、家族介護が前提とも言われています。

いずれにせよ、これから真剣に地域全体で高齢者を支えて

いく仕組みをつくっていかないといけません。10年かけてどこまでいけるのか大きな課題と言えます。

新妻 震災時を改めて振り返ってみますと、グループホームの利用者を支える力が弱かったのかなと思います。世話人自身が避難してグループホームが運営できなくなったのです。地域の中に、社会福祉協議会や民生委員・児童委員などと、グループホームで生活する方々を支える小さなチームをつくらなければならなかったのかなと改めて思いました。

人材不足に関しては、介護、福祉があまり人気のある職ではないことが一つありますが、現在福島県の場合は原発の問題があると思います。私たちは、福祉のあるべき姿についての話しもありますが、私たち自身が原発に関してどう考えていくべきなのか話し合い、発言していかなければならぬと感じています。

金子 私たち民生委員・児童委員は、災害に対して、どのようにすれば被害を最小限にできるのか、また、住民の皆さんを救う手だてについても、改めて真剣に学ばなければと思っていました。3月11日の震災直後は日没と停電ですぐに暗くなりましたが、その

ときの経験からも、暗闇のなかでも安否確認や声かけのために要援護者世帯に駆けつけることが大きな役目であったと思います。これからも安否確認に始まって、安否確認が終わるといつてもいいくらい、実際に目で見て、笑顔を見て、電話ではなく実際の声や姿を把握することに努めていきます。

強口 災害では何が起こるかわかりません。社会福祉協議会は、社会福祉施設やNPO団体、地域住民や一般企業などのネットワークを持っていること、そのネットワークを機能させられる環境を常々作っておくべきだと感じています。

ボランティア活動は、重労働のがれき撤去などは終わりました。今は仮設住宅入居者のニーズを調査し、それに見合ったボランティアを派遣することが多いですが、一部では、避難先から帰ってきたけど、家の前が泥だらけだとか、タンスが倒れているから片付けてほしいというニーズもまだ続いています。

被災者支援では、身近な見守り、相談者として生活支援相談員の活動が大切です。津波や地震への恐怖は落ち着いてきていますが、最近では、いつまで仮設にいろのだろうという先行きへの不安や、生活の再建に関する悩みが多くなっています。自分

「はあとふるふくしま」200号記念
歴代編集担当のエピソード

「目的」を明確にする
大切さを学ぶ
大和田 誠



「はあとふるふくしま」の内容を企画し取材、そして出来上がり。自分はいくつと自分を褒め、毎月頑張っているが、「読者や相手が何を求めているのか、何を伝えるか」を考えず、自己満足に浸って仕事をしていました。

それに気付かせてくれたのは、ある上司でした。「何事においても目的が大切だ。目的がしっかりしていないと最大の結果は出ない。話し合うことを大事にする」と。今でもはつきりと思ひ出します。

培ったスキルが
プライベートでも！
青木 美津雄



担当していた100号記念当時、私はライター、カメラマンといった専門スタッフから打ち合わせや取材を通じて情報誌作りのノウハウを学び、割り付けや文章構成についてあれこれ議論できるレベルまで成長させていただきました。中でも写真撮影のコツについては、興味本位で応募した公共施設のコンクールで家族のスナップ写真が見事入選するまでに！ 賞品として図書券をいただきました。仕事で学んだスキルがプライベートでも活かされるとは……。

の震災前の人生を振り返って、自分の人生は一体何だったんだろうと悩む方もいます。また、それを受け止める相談員の心のケアもきっちりしていかなければいけません。

さらに他町村から避難されてきた方をどのように受け入れながら前に進んでいくのかも重要です。例えば、いきいきサロンや子育てサロンなどのなかで課題を見つけないで、ともに暮らす地域社会をつくっていくことが、社会福祉協議会に与えられた課題だと考えています。

神戸 私たち児童福祉施設部会では、原発の事故に関する緊急避難マニュアルを作成しました。1次避難に関して状況が錯綜して判断できないときは施設にそれを任せること、2次避難から県が指示していくこと、これらをきちつと行政と話し合い、確認できたことは大きな進歩でした。それに合わせ、各施設間の相互支援協定も結びました。これは、施設で何か問題が起きたときにはその施設の自己責任にせず、部会全体で解決していこうという、これまでの取り組みの成果だったと思っています。

震災後、施設には震災孤児が来ることも予想されました。しかし誰も来ませんでした。今は、多くの子ども

もが親がいながら養育が困難な状況となり、施設に入所するという現状です。まさに家族の中で子どもは居場所を失っているわけです。

そして原発事故は福島県の家族にとっても大きなダメージを与えました。祖父母を残して避難する親子、夫を残して避難する母親と子どもなど、子どもの養育環境が激変した家族が続出しています。子どもを安心して養育できる余裕がなくなっています。さらに、原発の問題を契機にして、同じ福島県の被災者たちがそれぞれの利害で相当分断されています。それによる子どもへの影響を深刻に考えています。

福島復興は、子どもが安心して生活できる、こういう福島にしない限り叶わないと思います。社会的養護の子どもや地域の子どもに関係なく県全体で子どもを守っていくことがとても大事と感じています。

古川 やはり、これからの10年は3・11からの復興が第一です。福島県の福祉は、今回の震災で地域の仕組みから崩壊してしまった部分があります。また、福島県は双葉地方や浜通りだけではなく、風評被害を含めて県全体が本場に大きな被害を受けています。全国に避難されている方もまだ多くいます。

これに対してどのようにしていくのか。国に対して伝えるべきことはしっかりと伝えて、福島県の福祉を震災前よりもさらにレベルアップした形にする。県社協としてしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

鈴木 今後、国は国民福祉の向上を目指して様々な取り組みをしますが、私たちは、その変化の中で動くのではなく、変化を越えて取り組みを成さなければならぬと思っています。私たち福祉に携わる人間は、福島で創出していくでしょう。そして、福島から創っていくためには、皆さんのリーダーシップがますます重要になると思います。次の10年間の振り返りを行うときには、新しくつくり上げられた福島県の福祉を振り返られるような10年にしていきたいでしょう。



『はあとふるふくしま』
200号発行にあたって

「ふくしま 明日への一步」

200号の発行を記念しての今月の特集では、福島県の社会福祉の各分野の中心で活躍されている方々の意見を紹介しました。いずれも大変示唆に富む内容で、震災後の課題を乗り越え、今後10年を見据えながら福島県の福祉を作り上げていく決意を新たにさせていただきました。

本誌『はあとふるふくしま』は、200号の発行を迎えるまでの間、「ホットな福祉情報誌」として、その時々福祉の動きを切り取り、最新の情報をお届けしてきました。200号を目の前に起きた震災に対しても、本誌は福祉分野の震災に関連した特集を多く組み、そして「すべての福祉関係者が協力しあいながら、3・11を乗り越え、これまで以上にあなたがつながりあるふくしま、ふくしまをつくっていきましょう」と呼びかけました。

『はあとふるふくしま』300号の発行予定は、震災から10年が経った2021年4月の予定です。これからの福島県の福祉は、震災を乗り越え様々な課題を克服しながら、確実に歩みを前へ進めていきます。この確かな歩みをその時代のホットな福祉情報として、これからも変わらずに読者の皆様にお届けしていきたいと思っています。

知って
おきたい

福祉ワード

今回は 介護職員初任者研修

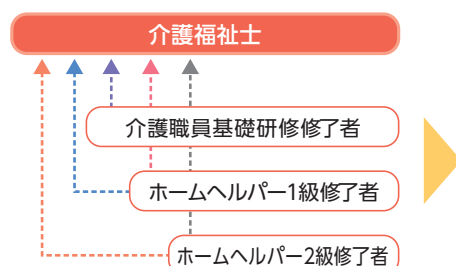
「今後の介護人材養成の在り方に関する検討会」報告書(平成 23 年 1 月 20 日)において、「今後の介護人材のキャリアパスを簡素でわかりやすいものにする」とともに、生涯働き続けることができるという展望を持てるようにする必要がある」等の提言がなされました。このことを踏まえ、これまでの介護職員の研修課程等の見直しを行い、「介護職員初任者研修」が今後実施されます。

現在からどのように変わるのですか？

介護分野には、現在、ホームヘルパー養成研修(1級と2級)、介護職員基礎研修、介護福祉士など、様々な研修・資格が存在しています。また、介護福祉士資格取得後のキャリアパスには、十分な仕組みがありません。そこで、同報告書は、今後

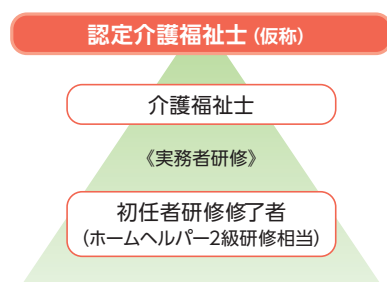
の介護人材のキャリアパスを簡素でわかりやすいものとし、段階的にステップアップしていくことができるよう、以下のように整備し、介護職の基礎的な資格として「介護職員初任者研修」を位置づけました。

[現在のキャリアパス]



《養成体系が複雑！》

[今後のキャリアパス]



《養成体系を簡素でわかりやすく！》

今持っているホームヘルパー2級の資格はどうなるのですか？

これまでのホームヘルパー2級の養成研修は、平成25年4月1日以降廃止となりますが、資格が無効になるわけではありません。平成24年度末までに受講を開始した人まで「初任者研修修了者」とみなされます。



ふくし インフォメーション

社会福祉主事資格認定通信課程 (春期コース)のご案内

社会福祉施設・事業所に勤務されている職員を対象とした、通信課程の受講者を募集しています。

受講資格 ①民間社会福祉事業に従事していること ②受講期間中、申込み時の所属法人に勤務していること ③受講について所属長の承認が得られること

受講期間 2013 年 4 月より 1 年間

学習内容 自宅学習によるレポート作成(16 科目)、面接授業(5 日間)、修了テスト

受講料 85,000 円(テキスト・教材費、面接授業料等を含む)

申込締切 平成 25 年 1 月 31 日(木)

申込方法 受講案内及び申込書を中央福祉学院ホームページよりダウンロードできます。なお、申込者は受講者が勤務する施設・団体の所属長となります。

お問い合わせ

社会福祉法人全国社会福祉協議会 中央福祉学院

TEL (046)858-1355 FAX (046)858-1356

HP <http://www.gakuin.gr.jp/>

福祉レクリエーション講習会

地域住民主体のサロン活動、高齢者施設等の支援活動などにおけるレクリエーション活動の充実を図り、地域を支える体制づくりを目的として、(財)日本レクリエーション協会公認レクリエーション・インストラクター資格取得の対象となる講習会を開催します。

日 時 平成 25 年 1 月 19 日(土)、2 月 2 日(土)、
2 月 16 日(土)、3 月 2 日(土)の 4 日間
午前 10 時～正午

定 員 50 名(先着順)

会 場 田村市社会福祉協議会(本所)
田村市船引町船引字東中子縄 7

参加費
無料

お問い合わせ

田村市社会福祉協議会 TEL (0247)81-2166

「第66回福島県社会福祉大会」が開催されました

11月2日（金）、第66回福島県社会福祉大会が二本松市で開催され、約1,200名の社会福祉関係者が一堂に会しました。

式典に先立って、東京ボランティア・市民活動センター所長で神奈川県立保健福祉大学顧問の山崎美貴子氏から、『人と人がつながり共に支え合える地域づくりをめざして』と題して記念講演をいただき、このたびの震災の経験を踏まえながら、人と人がつながる地域づくりの大切さをお話しくださしました。

式典では、福島県知事感謝として553名に感謝状が、また社会福祉大会会長表彰として169名・



団体に表彰状、感謝として74名・団体に感謝状が贈られました。さらに「瓜生岩子賞」及び「赤い羽根共同募金運動スローガン」の表彰も併せて行われ、「瓜生岩子賞」は、先月号でもご紹介した、社会福祉法人郡山清和救護園常務理事の難波朝重氏と社会福祉法人牧人会理事長の山下勝弘氏に、表彰状と楯が大会会長から手渡されました。

また、平成24年度赤い羽根共同募金運動スローガンの最優秀賞に選ばれた福島大学附属中学校の鈴木美玖さんは、「東日本大震災が起きて以降、多くの人たちから福島県への優しい手がさしのべられ、私は人と人との絆を感じました。赤い羽根共同募金運動で、一人ひとりの優しさが地域の絆を通してつながっていくことを願い、このスローガンを考えました」と『やさしさを絆でつなぐ赤い羽根』の作品に込めた思いを壇上よりお話しくださいました。

来年は相馬市での開催です。震災により大きな被害を受けた相馬市ですが、来年の開催までにはさらに復興が進み、社会福祉関係者が相馬の地にまた一堂に会してこの大会が開催されることを今から願ってやみません。

■山崎美貴子氏の講演要旨

人と人がつながり 共に支え合える 地域づくりをめざして

大震災から2年目となる今が、被災者にとって一番つらい時期といえます。相馬市で行われた慰霊祭に参加した際に、津波で家と妻を亡くし、現在は仮設住宅で暮らしているという方に「仮設住宅に居て一番つらいことは何か」と尋ねると、その方は「思い出の品が（津波で流されて）一つもないことだ」とおっしゃいました。長年一緒に生きてきた亡き妻との思い出を示すものが一切なくなってしまう、つながりを感じるができなくなっているのだといいます。福島県の被災地を訪れたときに、深く印象に残ったできごとの一つです。

今回の震災では多くの人々が大切な人の死や大切なものの喪失を目の当たりにし、深く傷つきました。しかし、被災地での様々なボランティア活動の中で、津波で流されてしまった写真や記念の



品々を探し集めて持ち主に届ける「思い出探し隊」という活動が生まれ、広がっていきました。こうした人と人とのつながりを大切にするという姿勢は、まさに日本ならではのものであり、他ならぬ日本であるからこそ生まれたボランティア活動であると思います。

こうした「死」により傷ついた人々の回復を共に寄り添って行うことのできる社会は、「品格のある社会」であると考えます。復興に向けて行政にできることも限られてくる中で、地域住民一人ひとりが主役となる住民主体の地域づくりが今後ますます重要となります。一人ひとりが支え合い、「明日の希望は私たち自身がつくる」という姿勢でつなぎ・つながり・つなぎあう地域づくりを進めてまいりましょう。

赤い羽根 ささえあい



社会福祉法人福島県共同募金会

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 (福島県総合社会福祉センター内)

TEL (024) 522-0822 FAX (024) 528-1234

●メールアドレス akaihane@axel.ocn.ne.jp

●ホームページ <http://www8.ocn.ne.jp/~akaihane/>

赤い羽根共同募金ふくしま

検索

平成 24 年度歳末たすけあい運動が 12 月 1 日から始まりました！

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに掲げ、今年度も共同募金運動の一環として 12 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 カ月間、歳末たすけあい運動を実施しています。

ボランティアや民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会などの関係機関・団体の協力を得て、新しい年を迎える時期に支援を必要とされている方々が地域で安心して暮らすことができるよう、住民の皆様のご支援とご協力によって多様な福祉活動が展開されます。

皆様からお寄せいただいた寄付金は、例えば一人暮らし高齢者の方へのおせち料理の配食や除雪サービス、見舞金贈呈、その他の地域福祉サービス事業など、皆様方がお住まいの地域に密着した様々な事業に活用されます。

東日本大震災や原発事故等により、今もって厳しい状況の方もいらっしゃるでしょう。共同募金は自主性を大切にしている募金です。ご自身の可能な範囲でのご支援とご協力をお願いいたします。



赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」 住民支え合い活動助成事業の応募受付終了のお知らせ



県内の住民の皆さん同士の支え合い、助け合いを支援することを目的に助成を実施しておりますが、平成 24 年度の応募受付を以下の期日をもって終了しますのでお知らせいたします。

また、助成を受けた活動は平成 25 年 3 月末日までに完了し、完了後 1 カ月以内に精算報告をしていただきますのでご注意ください。

応募受付終了日 平成 25 年 2 月 15 日 (金) 〈期限厳守〉

福祉図書紹介



『介護保険事業運営の手引 指定基準・介護報酬・Q&A』

介護保険制度の各基準を
サービスごとに整理！

事業者のコンプライアンスのために
知っておくべき運営基準、介護報酬、
関係通知を中心に、Q&A も交えながら
わかりやすく編集しました。2012 年
春の制度改正、介護報酬改定に対応。

■訪問介護編 (三訂版)

B5判・262頁

定価 2,730円 (税込)

■小規模多機能・グループホーム編 (三訂版)

B5判・594頁

定価 4,200円 (税込)

■居宅介護支援編 (三訂版)

B5判・214頁

定価 2,730円 (税込)

■通所介護編 (三訂版)

B5判・314頁

定価 2,730円 (税込)

■介護老人福祉施設・短期入所生活介護編

B5判・約540頁

定価 3,780円 (税込)

編集 介護保険事業運営の手引編集委員会

発行所 中央法規出版

〈購入方法〉

県社協総務企画課までご連絡ください。

TEL(024)523-1251 FAX(024)523-4477

社協通信

5年前に4つの町村社協が合併した南会津社協。旧田島町に設けた本所と旧伊南村の西部事務所の二拠点で運営しています。



1 親子のリフレッシュを目的とした「なかよしわいわいの集い」。2 各種集いでは、ボランティアが活躍しています。3 「すこやかふれあいの集い」には、町内の高齢者が200人近く集まります。4 「高齢者見守り支援事業」の一環として、社協がサロン運営をお手伝い。

南会津町 社会福祉協議会

職員総数:63名
(常勤17名、臨時職員15名、非常勤31名)

〒967-0004
南会津郡南会津町田島
字中町甲3918-1
TEL (0241) 62-4169
FAX (0241) 62-4189



エリア情報

(平成24年11月1日現在)

人口: 18,009人

世帯数: 6,918世帯

高齢化率※: 34.9%

※65歳以上の高齢者人口が
全人口に占める割合

わいわい・あいあい・ふれあい 南会津の集い三本柱とは?

南会津町社協は、今年11月に行われた全国社会福祉大会で「社会福祉協議会優良活動表彰」を受賞しました。事務局長の渡部浩治さんは「合併前の田島・館岩・伊南・南郷の各社協時代から継続して進めてきた地域福祉活動が評価されたもの」と話します。「各町村が実施していた良い事業は、新体制でも取り入れてきました」と話すのは、主任福祉活動専門員の馬場一禎さんです。

旧館岩村社協が行ってきた「ブックスタート」もその一つです。これは、町内の赤ちゃんが6〜8カ月健診を受ける際に絵本を読み聞かせるとともに、絵本をプレゼントする事業。子育て支援事業には、他に保育所入所前の子とその親のリフレッシュを目的とする「なかよしわいわいの集い」があります。

また、障がい者のスポーツ交流事業である「こここあいあいの集い」、70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象とした昼食会は「すこやかふれあいの集い」というように、

3年目に入った 高齢者の見守り活動

町内には65歳以上の高齢者が住民の半数を超える。限界集落も点在しています。平成22年に町からの委託を受けた町社協では、「高齢者見守り支援事業」を始めました。対象者は65歳以上の一人暮らし、高齢者のみの世帯です。

「最初は訪問に戸惑う方もいましたが、今ではほとんどの方が心待ちにしてくれていますね」と福祉活動専門員の鹿目明奈さん。訪問時に高齢者の体調の異変に気づき、地域包括支援センターにつな



「今回の受賞を励みに町民の期待に応えていきたい」と話す渡部浩治事務局長。

親しみやすい事業名も南会津町社協の特徴です。主任福祉活動専門員の柴崎恒博さんは、「すべて合わせて『集い三本柱』ですね」と話します。

協力者や参加者の声を聞き 事業を振り返る

いだこともあったそうです。担当者は地域サロン支援にも関わってきました。自主運営を目指し今年度はリーダー研修を開催。誰もが住み慣れた家で暮らし続けられる地域づくりを目指します。

南会津町社協では数々の事業ごとの評価を欠かさずに行っています。ボランティアなど協力者や参加者からのアンケート、担当者の振り返りなどをまとめて、その結果を次年度に活かしてきました。

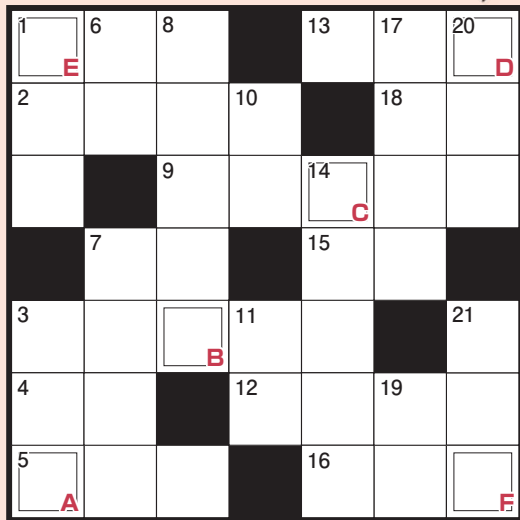
職員一人ひとりが効率的な運営のために知恵を絞り、効果の高い方法を探り続けている南会津社協。その取り組みには、参考にできる部分が数多くありそうです。



「常に笑顔とおもてなしの心を忘れず」と話す渡部事務局長のもとで、活気あふれる南会津町社協のスタッフ。左から馬場さん、渡部事務局長、柴崎さん、鹿目さん。

チャレンジ! 全部できたら二重ワクの6文字をABC順に読んでください。そのことが答えです。

クロスワードパズル



応募方法 ハガキにパズルの答えと ①住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、業種 ②本誌に対するご意見、ご感想、ご要望 を全てご記入の上、下記までご応募ください。

締切 平成25年1月15日(火)

宛先 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111
社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
「はあとふる・ふくしまパズル係」

※ご記入の個人情報は適切に管理し、目的以外に使用しません。

↓タテのカギ

- ① 両手で胸を叩いて外敵を威嚇。別名「大猩猩」
- ③ サバ缶、トマト缶、タケノコ、ワラビなどの調理法
- ⑥ 地球上の陸地の表面を覆っているもの
- ⑦ Zzzzz……ギリギリィ
- ⑧ 電気代、ガス代、灯油代など
- ⑩ 越後の奇祭として松之山では小正月に投げられます
- ⑪ 梁川、保原、霊山、月舘などが合併して市に
- ⑭ 芯をくりぬき、砂糖・シナモンなどを詰めてオープンで
- ⑰ ⇄ +
- ⑲ 日本で2番目に飼われているペット
- ⑳ 昆虫の集まる樹。漢字では櫟、栲、橡、櫟、歴木
- ㉑ 三国志で劉備に仕えた忠義の武将。美髯公

→ヨコのカギ

- ① なりきり遊び。電車、お医者さん、鬼…
- ② 原子番号3。電池の原料にもなります
- ③ 逆に履いてると「靴がコレだよ」と注意されたっけ
- ④ 仏像などを安置する仏具。法隆寺のは玉虫の羽を使用
- ⑤ バイクを運転するにはこの免許が必要です
- ⑦ ○○夢、○○売り、○○詣で、○○日の出
- ⑨ 尻尾のような絹毛から命名された春を知らせる植物
- ⑫ ⇄ 人工
- ⑬ 映画やテレビに文字を出して分かりやすくします
- ⑮ エアメールの最後を書く○はハグ、では×は?
- ⑯ 仏や聖人などの体から発せられる光
- ⑲ 日本で1番飼われているペット



今月の当選者の中から抽選で3名の方に、いいで工房(喜多方市)の「クッキー詰め合わせ」をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



抽選で
当たります

10月号の正解

「人材確保(ジンザイカクホ)」

多数のご応募ありがとうございました。

ふくしまから
ありがとう

子どもたちのために…ありがとう

あいあい保育園 前園長 野崎 美紀子(福島市)

昨年、7月の夏祭りを目標にみんなで取り組んでいたときのこと。窓を閉め切ったホールで、それでも毎日よさこいや太鼓の練習を頑張る子どもたちの姿。真剣で体いっぱい楽しさを表現していました。



私に突然抑えきれない怒りが湧き起こりました。これが子どもの現実。自然から遠ざけられ、蒸し風呂のような室内での生活でありながら、生き生きとした表情を見せて頑張る子どものけなげさ。だけども子どもたちにこの環境を強いていいはずがない。みんなに知ってほしい。新聞に投稿し、掲載されました。

3カ月経ち、保育園に小包が届きました。フェルトで作られたたくさんのおまけと道具。丁寧に作られた野菜やくだもの、お菓子や台所のセット。手紙が添えられ、「投稿の記事を読み、自分にできることで子どもたちを励ましたい。作り続けて遅くなりましたが、遊んでいただけると嬉しいです」と世田谷の方からでした。何のご縁もない方からの温かさ。子どもたちはとても喜び、今も大切に遊んでいます。本当にありがとうございました。

そして、子どもたち。子どものために頑張り続けた保育園の職員たち、お父さん、お母さんたちにも、大変だったのに一緒に笑顔で過ごしてくれたこと、心から「ありがとう」。

東日本大震災を経たお世話になった方への「ありがとう」の気持ちを、ぜひお寄せください。投稿方法など詳細は県社協ホームページをご覧ください。

福祉の求人、求職は福祉人材センターへ

1月の「福祉の仕事相談会」の日程

〈相談受付時間 午前10時～午後3時(全会場共通)〉

4日(金)	9日(水)	17日(木)	28日(月)
会津若松市 社会福祉協議会	いわき市 社会福祉センター	南相馬市 原町区福祉会館	郡山市 総合福祉センター

県社協 人材研修課 福祉人材センター／メール jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp
TEL (024) 521-5662 FAX (024) 521-5663

★ネット紹介システム(インターネット求人登録)は、
<http://www.fukushimakenshakyo.or.jp> の福祉人材センターホームページからアクセス!

ひとり親のみなさんの就業を応援します

1月の「就職相談会」のお知らせ

〈相談受付時間 午前10時～午後3時(全会場共通)〉

9日(水)	16日(水)	23日(水)
須賀川市 県中保健福祉事務所	福島市 県総合社会福祉センター	南相馬市 相双保健福祉事務所

- 相談無料 事前に予約が必要です。
- 随時、お仕事の相談を受け付けております。上記以外にも県内各地で相談会を開催しておりますので、お気軽にご連絡ください。

県社協 人材研修課
母子家庭等就業・自立支援センター
TEL (024) 521-5699
FAX (024) 521-5663
メール boshi@fukushimakenshakyo.or.jp

編集後記 震災と原発事故により、過去に経験がない重大な被害に見舞われた福島県。失ったものは多く、経済的な賠償の有無、仮設住宅と借り上げ住宅の支援格差、自主的な県外避難への葛藤などにより、県民の間にいくつかの見えない心の「壁」ができてしまったことを感じます。

300号を発行するのは震災から10年後。その時にはこの「壁」がなくなっていることを願わざるをえません。

なかじましよう
総務企画課 中島 将

発行日／平成24年12月17日

制作・印刷／(株)日進堂印刷所